

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
42	可児工業高等学校

学校教育目標	あらゆる教育活動の場をとおして、知・徳・体・技の調和のとれた地域社会から期待される人間性豊かな工業技術者を育成する。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	①工業技術者としての自覚を高め、基礎学力と専門的知識・技能の定着に基づいた職業観・勤労観を持った生徒 ②地域社会から信頼され、新たな価値を生み出し、未来を拓く創造性あふれる生徒 ③多様な人格を尊重し、豊かな心と健やかな身体を持った生徒	①就職や進学に対応した柔軟な選択科目や習熟度に合わせた少人数授業を展開し、タブレット端末などを活用する生徒一人ひとりに寄り添う支援の推進 ②専門的な知識や技術の習得、様々な資格取得のサポートをはじめ、インターンシップ・企業見学を通し、充実したキャリア教育・進路支援の実施 ③地域社会と連携した学校行事、活発な部活動を通して、豊かな人間性や社会性の育成	①ものづくりに興味・関心を持ち、身につけた知識や技術を産業界で活かしたい生徒 ②高校生活に明確な目標を持ち、学習をはじめ資格取得、部活動など学校生活に意欲的に取り組み、自ら成長しようとする生徒 ③規範意識が高く、規則正しい学校生活ができる生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 工業技術者としての自覚を高め、基礎学力と専門的知識・技能の定着に基づいた職業観・勤労観の育成を行います。	①学習のねらいと学習内容を明確化し、ICT機器を効果的に活用しながら学習意欲を引き出す「わかる」「できる」授業を展開します。 ②課題解決型の学習を通して、主体的に学習する力を育成するとともに、高度の資格試験への挑戦を支援します。また、進路目標を明確にすることにより、計画的・継続的に学習する習慣の定着を図ります。 ③キャリア教育の充実を通して、コミュニケーション能力の向上と進路希望の達成を目指します。また、工業技術者としての自覚を高め、豊かな創造力と高度な実践力を身につけ、勤労意欲に満ちた人材の育成を行います。		①授業アンケート評価「わかる相当」80%以上 ②資格試験合格率の平均値 50%以上 ③進路希望の達成度 90%以上
2 基本的生活習慣が身につく、豊かな心と健やかな身体の育成を行います。	①全職員で挨拶指導や遅刻防止指導を展開し、社会に通用する基本的生活習慣や適応能力を育てます。 ②お互いを尊重する態度を育成するとともに、日常における生徒の僅かな変化も見逃さない姿勢と組織的対応によりいじめの未然防止に努めます。 ③全職員が教育相談の力量を高め、一人ひとりの生徒理解に徹した指導支援を展開します。		①前年度の遅刻回数に対して20%以上の減少 ②いじめや差別などに人権にかかわる指導に対する肯定的評価90%以上、 ③個々の生徒の悩みや相談事への支援に対する肯定的評価90%以上
3 産業界から信頼される豊かな人間性や社会性に富んだ人材の育成を行います。	①地元企業とのインターンシップを拡大充実させるとともに、社会人講師の積極的活用により専門分野における実践力を高めます ②地域貢献やボランティア活動への参加を通して、豊かな人間性や社会性を育てます。 ③学校運営協議会や地域の声を取り入れ、学校行事の見直しや授業改善等に取り組むことにより、生徒の学校満足度を高める指導を実践します。		①地域イベントやボランティア活動への参加数 年間5件以上 ②アンケート評価「よい相当」80%以上 ③生徒の学校満足度「当てはまる」90%以上